

第68回 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート 愛と情熱のハーモニー

沼尻竜典〈指揮〉
森 麻季〈ソプラノ〉
高島健一郎〈テノール〉
鳥尾匠海〈テノール〉
東京都交響楽団



2026/3/11 [水]
18:15開場 19:00開演

横浜みなとみらいホール
大ホール(神奈川県横浜市)

J.シュトラウス2世：喜歌劇《こうもり》序曲／レハール：喜歌劇《微笑みの国》より「君は我が心のすべて」
ナポリ民謡：オー・ソレ・ミオ／チャイコフスキー：交響曲第4番 ヘ短調 Op.36 ほか

■SS席 7,000円 ■S席 6,000円 ■A席 4,500円 ■B席 3,000円 ■P席 2,000円

全席指定・税込／未就学児入場不可／P席はステージ後方の座席です

※やむを得ない理由により、曲目や演奏者が変更となる場合がございます。

プレイガイド | 先行発売：10月31日(金)～11月6日(木)ソニー音楽財団(会員のみ)・チケットぴあ・イープラス／一般発売：11月7日(金)

■ソニー音楽財団オンラインチケット
www.smf.or.jp

※発券手数料・支払手数料無料(ソニー音楽財団オンラインチケット会員限定)



■チケットぴあ t.pia.jp ■イープラス eplus.jp

■横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000 (休館日・保守点検日を除く10-17時)

■都響ガイド 0570-056-057 (平日10-18時) www.tmsu.or.jp

コンサートの収益金は日本赤十字社へ寄付され、献血運搬車の購入・整備資金に充てられます。

主催・お問い合わせ：公益財団法人ソニー音楽財団 (Sony Music Foundation) 03-3515-5261 (平日10-18時) www.smf.or.jp

共催：公益財団法人東京都交響楽団 協賛：ソニーフィナンシャルグループ株式会社 後援：日本赤十字社

献血は、誰か見知らぬ人の、たった一つしかない命の支えに、自分のための血液を分かち合う“命の贈り物”です。本企画は、HIV/AIDS問題をきっかけに大きく社会問題化された「献血」に対する認識をより一層高めるために、1990年よりスタートしました。1999年には「献血思想」の普及や献血推進運動の進歩発展に特に優れた功績のあった個人・団体に贈られる最高の賞である「昭和天皇記念献血推進賞」を受賞しました。当公演の収益は、どんな非常時においても、誰でも、いつでも、安全に献血で治療を受けられる環境がより整うことを願い、“献血運搬車の購入・整備等の血液事業への充当”に目的を限定して日本赤十字社に寄付いたします。このコンサートの主旨をひとりでも多くの方にご理解いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

公益財団法人ソニー音楽財団

2024年度までの寄付金額：¥117,229,734

PROFILE

■ 沼尻竜典 〈指揮〉

RYUSUKE NUMAJIRI

神奈川フィル音楽監督、トウキョウ・ミタカ・フィル音楽監督。ベルリン留学中の1990年、ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以後、ロンドン響、モントリオール響、ベルリン・ドイツ響、ベルリン・コンツェルトハウス管、フランス放送フィル、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、シドニー響、チャイナ・フィル等、世界各国のオーケストラに客演を重ねる。国内外で数々のポストを歴任。ドイツではリューベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラ公演、劇場専属のリューベック・フィルとのコンサートの双方において多くの名演を残した。ケルン、ミュンヘン、ベルリン、バーゼル、シドニー等の歌劇場へも客演。16年間にわたって芸術監督を務めたびわ湖ホールでは、ミハエル・ハンペの新演出による《ニーベルングの指環》を含め、ワーグナー作曲の主要10作品をすべて指揮。14年には横浜みなとみらいホールの委嘱でオペラ《竹取物語》を作曲・初演、国内外で再演されている。17年紫綬褒章受章。

■ 森 麻季 〈ソプラノ〉

MAKI MORI

東京藝術大学、同大学院、文化庁オペラ研修所修了後、ミラノとミュンヘンに留学。ドミンゴ世界オペラコンクールをはじめ、多数の国際コンクールに上位入賞。1998年ワシントン・ナショナル・オペラでアメリカ・デビュー。ドレスデン国立歌劇場、トリノ王立歌劇場に出演を重ねて国際的な評価を高める。近年では鈴木優人プロデュースオペラ《ボッペアの戴冠》《リナルド》《ジュリオ・チェザレ》《魔笛》《ドン・ジョヴァンニ》に出演し、いずれも好評を得る。2023年BBCプロムスにデビュー。翌年、山田和樹指揮＆バーミンガム市響《蝶々夫人》のタイトルロールは英国の聴衆から喝采をあげる。透明感のある美声と深い音楽性は各方面から絶賛され、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」メインテーマを歌うなど、日本を代表するオペラ歌手として常に注目をあびる。国立音楽大学客員教授、東京音楽大学特任教授、東京藝術大学でも教鞭を執る。ワシントン・アワード、五島記念文化賞、出光音楽賞、ホテルオークラ賞受賞。

■ 高島健一郎 〈テノール〉

KENICHIRO TAKASHIMA

東京藝術大学声楽科卒業後、同大学海外留学支援奨学生としてウィーンへ留学。ウィーン市立音楽芸術大学在学中の2018年レハール音楽祭にてデビューし、同シーズンから「ジプシー男爵」タイトルロール・バリンカイ役等様々なオペレッタの主演をドイツ各地の劇場で務めた。2022年には世界最大のオペレッタの祭典・メルビッシュ湖上音楽祭にデビュー。東京オペラシティでの日本初リサイタルを成功させ、ヴォーカルグループ「REAL TRAUM」のリーダーとしても活動を開始。2024年末からは再びオペレッタ「メリー・ウィドウ」カミーユ役としてドイツ各地の劇場に再び出演した。浜離宮朝日ホールでのリサイタル、Bunkamuraオーチャードホールでのガラコンサートのチケットは完売し、現在日本で最も人気のある国際的なキャリアを歩むテノール歌手として活動している。

■ 鳥尾匠海 〈テノール〉

TAKUMI TORIO

東京藝術大学声楽科卒業後、新国立劇場オペラ研修所第22期修了。第71回全日本学生音楽コンクール全国大会大学の部にてテノールとして初の第一位。甲子園球場、東京ドーム等で国歌独唱。オペラでは、『ジャンニ・スキッキ』・『ドン・ジョヴァンニ』・木下牧子新作オペラ『陰陽師』等、コンサートではベートーヴェン「第九」・モーツァルト「戴冠ミサ」・日本最大級のクラシックフェス「STAND UP! CLASSIC」・BS11貴公子達の音楽会・「のだめカンタービレ」など多数の公演に出演。また、小学校で歌唱した「鬼のパンツシリーズ」動画がSNSで2,000万回再生と人気を博す。2025年にはサントリーホールで開催される世界最大級のこどもを対象にしたクラシック音楽フェス「こども音楽フェスティバル」に出演。現在最も注目を集める若手テノール歌手。ヴォーカルグループ REAL TRAUMメンバー。

■ 東京都交響楽団

TOKYO METROPOLITAN SYMPHONY ORCHESTRA

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立(略称:都響)。現在、大野和士が音楽監督を務めている。定期演奏会などを中心に、小中高生への Welcome! オーケストラ(音楽鑑賞教室)、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏、福祉施設での訪問演奏のほか、2018年からはサラダ音楽祭での演奏など、多彩な活動を展開。CDリリースは、インバルによる『マーラー:交響曲全集』のほか、交響組曲『ドラゴンクエスト』(全シリーズ)や『Fate/Grand Order』などのゲーム音楽まで多岐にわたる。2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、『オリンピック讃歌』の演奏(大野和士指揮/録音)を務めた。

感動できる人生を、いっしょに。



ソニーフィナンシャルグループ

ソニー生命 ソニー損保 ソニー銀行 ソニー・ライフケア